

# 筑波医療科学

Tsukuba Journal of Medical Science

On-Line Journal

URL <http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/cnmt/Medtec/journal.htm>

TJMS 2020; 16(2): 1-2

## 多職種連携 医療専門職養成プログラム継続事業 CoMSEP-Beyond

令和元年度  
生体機能診断ワークショップ

概要



より良い教育サービスを学生  
ならびに社会人に提供する

CoMSEPは医療専門職養成の新たなしくみを提案します。

～ 総合評価「S」の実績に基づく教育プログラム～



夏季休業中に他の医療専門職を自習する学生と交流して単位を取得しませんか！

### 多職種連携 医療学概論

本科目は、多職種の医療専門職を自習する学生を対象とし、併発、チーム医療や多職種連携を実現するための知識を学ぶ講義です。筑波大学で受講しますが、連携協力協定に基づき、茨城県立医科大学の学生も参加できます。一部の講義には、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士として働いている社会人も参加するので、職種や世代を超えてともに学ぶ機会を提供します。多数の参加をお待ちしています！

<b>対象</b>	筑波大学医学部学生 1～4年次 茨城県立医科大学保健医療学部生 1～4年次	
<b>単位数</b>	1.0 <b>履修申請</b> 履修番号: H30001 履修申請期間: 9月9日(金) 10:00～17:00 申請先: 医学部学務課 学務課長 先生宛	
<b>開講日・使用教室</b>	夏季休業中 9月20～22日 筑波大学 4B209	
<b>習得目標</b>	臨床検査学、放射線技術科学、理学療法学の概略を説明できる	
<b>単位取得</b>	出席 (>66, 7%) を前提とした、レポート提出による	
<b>成績評価</b>	レポートの評価によりA～Cで評価する	
<b>9月20日(金)</b>	<b>9月21日(土)</b>	<b>9月22日(日)</b>
10-14 臨床検査医学の概略と実務 11-25 検査法(臨床検査学)	細胞診の文化的背景と処理 検査法(臨床検査学)	臨床検査学 検査法(臨床検査学)
12-14 病理検査と臨床との関わり 13-30 小児科検査	臨床検査学: 放射線および造影剤検査 検査法(臨床検査学)	呼吸器疾患検査 検査法(臨床検査学)
13-44 染色体と遺伝子 15-09 検査法(臨床検査学)	臨床検査学: 検査法(臨床検査学)	運動学から見た能力 検査法(臨床検査学)
15-16 呼吸リハビリテーション 16-30 臨床検査(理学療法士)		

### CoMSEP

文部科学大臣認定「職業実践教育プログラム」



Brush up Program  
for professional

2020年度 筑波大学 履修証明プログラム  
多職種連携 メディカルスタッフ  
教育プログラム

事務局: 〒305-8575 茨城県つくば市元玉台 1-1-1 筑波大学 医療科学部  
TEL/FAX 029-853-3430, 3445

<http://www.md.tsukuba.ac.jp/comsep2/>

# 筑波医療科学 第16巻 第2号

Tsukuba Journal of Medical Science

Volume 16, Issue 2 (2020, December)

## 【目次】

**CoMSEP-Beyond 年次報告書 2020 秋**

• • • • 1 - 2

CoMSEP-Beyond 事務局

多職種連携医療専門職養成プログラム（CoMSEP）は 2018 年度をもって 5 年間の文部科学省補助金事業期間を終了しました。「平成 30 年度年次報告書」が 2019 年 3 月に Web サイトで公開されて以来、その後の事業報告を行っていませんでした。今回、「筑波医療科学」の紙面をお借りして 2019 年度と 2020 年度（秋まで）の報告をさせていただきます。

多職種連携医療専門職養成プログラム継続事業（CoMSEP-Beyond）として初年度であった 2019 年度の動きを表に示します。2020 年 3 月に Web サイト（<https://www.md.tsukuba.ac.jp/comsep/>）をリニューアルするまで公開されていたものです。

2020/1/27	「専門職連携教育」のWebページを更新いたしました。
2020/1/6	履修証明プログラム「多職種連携メディカルスタッフ教育プログラム」の2020年度の募集要項を公開しました。応募期間は2020/3/2~3/16です。
2019/10/27	学会で発表いたしました。 「筑波大学における臨地実習前OSCEの実践と課題」@2019年度 日臨技 首都圏支部・関甲信支部医学検査学会（第56回） 学生の臨地実習に向けた準備状況と、臨地実習指導者による実習指導の現状について調査したアンケートの結果を、臨地実習指導者の方々が参加する学会で報告いたしました。
2019/10/8	CoMSEP継続事業CoMSEP-Beyondの運営委員会を開催いたしました。 より良い教育サービスを学生ならびに社会人に提供するために、筑波大学医療科学類、茨城県立医療大学理学療法学科・放射線技術科学科の学類長・学科長・代表者らが集まり、3事業の運営方針を議論いたしました。
2019/9/24	履修証明プログラム「多職種連携メディカルスタッフ教育プログラム」のスクーリングを実施いたしました（9月21、22日@筑波大学）。 履修証明プログラムの詳細は <a href="#">こちら</a> 、スクーリングの様子は <a href="#">こちら</a> です。
2019/9/6	論文が掲載されました。 「臨床検査学教育における客観的臨床能力試験の有用性」臨床検査学教育 2019; 11: 188-194 昨年8月に学会発表しました2017年度の学生と臨地実習指導者を対象とするアンケート調査の結果をまとめたものです。
2019/8/26	多職種連携医療専門職養成プログラムCoMSEPは、文部科学省の課題解決型高度医療人材養成プログラム（平成26年度選定）の事後評価において、総合評価「S」をいただきました。 CoMSEP継続事業CoMSEP-Beyondでは、推進委員会からのコメントに応えられるように努めてまいります。
2019/8/26	第14回日本臨床検査学教育学会学術大会において、筑波大学での5年に及ぶ客観的臨床能力試験の取組を発表する招待講演が行われました（8月21日、熊本健康科学大学）。 臨床検査学教育（第11巻補冊、2019年8月1日発行）に招待講演の抄録が掲載されています（実践報告「OSLE：臨床検査学教育における形成的OSCEの開発・実践・課題」）。
2019/7/10	「履修証明プログラム」、「専門職連携教育」のWebページを更新いたしました。
2019/7/1	「客観的臨床能力試験」のWebページを更新いたしました。
2019/4/17	「専門職連携教育」のWebページを更新いたしました。
2019/4/10	「客観的臨床能力試験」のWebページを更新いたしました。

大きなニュースとしましては、2019年8月に、文部科学省の課題解決型高度医療人材養成プログラム（平成26年度選定）の事後評価において、CoMSEPが総合評価「S」をいただいたことが挙げられます。ここからは3つの事業に分けて報告します。まず、リカレント教育である「履修証明プログラム」では、2019年度に第5期生5名（臨床検査技師1名、診療放射線技師3名、理学療法士1名）が1年間の履修を終えて履修証明書を授与されました。現在は、第6期生8名が履修しています。「履修生からの声」もご覧ください（<https://www.md.tsukuba.ac.jp/comsep/voice/>）。次に、学部学生を対象とする「専門職連携教育」では、2019年9月に、つくばi-Laboratory（生化学検査）、筑波大学附属病院病理部、茨城県立医療大学から外部講師を招いて「多職種連携医療学概論」を開講しました。本年9月には、つくばi-Laboratory（血液検査）、筑波大学附属病院検査部（生理機能検査）、筑波大学附属病院リハビリテーション部の臨床検査技師ならびに理学療法士の方々にお越しいただき、講義を行っていただきました。もう一つの専門職連携教育である「生体機能診断ワークショップ」は、茨城県立医療大学（理学療法学科、放射線技術科学科）と筑波大学医療科学類の3年生120名を対象に2020年1月に行われました。3つ目の事業である「客観的臨床能力試験」は、各学科・学類で両年度ともに実施されました。

CoMSEP-Beyond 運営委員会は CoMSEP のときと同様に、各学科・学類の代表者ならびに外部委員が出席し、2019年10月と2020年11月に開催されました。

最後に、発表・出版としましては、2019年8月に熊本健康科学大学で開催された第14回日本臨床検査学教育学会学術大会において、筑波大学での5年に及ぶ客観的臨床能力試験の取組を発表する招待講演を行いました。また同年10月には、臨地実習指導者を含む臨床検査技師が参加した2019年度日臨技首都圏支部・関甲信支部医学検査学会（第56回）において「筑波大学における臨地実習前OSCEの実践と課題」という発表を行いました。論文については3編を出版しました。

1) Yukako Setaka, Kazuhide Tomita, Toshiyuki Aoyama, Michiharu Sekimoto, Yuichi Aita, Yukari Ohashi, Haruhiko Ninomiya. Development of an educational program for interprofessional collaboration: A workshop approach involving undergraduates from multiple departments. Journal of allied health sciences 10(1), 10-18, 2019

2) 服部圭一朗, 會田雄一, 山内一由, 二宮治彦. 臨床検査学教育における客観的臨床能力試験の有用性. 臨床検査学教育 : 日本臨床検査学教育学会機関誌 11(2), 188-194, 2019

3) 會田雄一. OSLE:臨床検査学教育における形成的OSCEの開発・実践・課題 (第14回日本臨床検査学教育学会学術大会). 臨床検査学教育 : 日本臨床検査学教育学会機関誌 12(1), 16-19, 2020

筑波医療科学 第16巻 第2号	
編集	筑波医療科学 編集委員会 磯辺智範 鈴木裕之
発行所	筑波大学 医学群 医療科学類 〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1
発行日	2020年12月15日